

行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	ユビキタス健康医療技術推進事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	情報流通行政局	担当課室	情報流通振興課 情報流通高度化推進室	室長 吉田 恭子		
会計区分	一般会計	上位政策	情報通信技術高度利活用推進費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第65号	関係する計 画、通知等	IT新改革戦略(平成18年IT戦略本部) デジタル新時代に向けた新たな戦略(平成21年IT戦 略本部)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	医療従事者の負担を増加させることなく、安全・安心に役立つユビキタスネットワーク技術等の活用を促進し、医療現場の安全 性向上や業務の効率化を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国の医療現場は医療従事者の不足が深刻であり、業務負担の増大により医療過誤も多く、医療の安全性向上や 業務効率化を図る取組が急務であるため、医療実施空間でのユビキタスネットワーク技術(電子タグ、センサネット、無線LAN 等)を利用し、情報を収集・管理することにより、医療事故の未然防止、安全・安心な医療の実現、情報共有による医療 従事者への業務支援を図るべく、医療機関等でのユビキタスネットワーク技術導入に向けた技術的検証を行う。					
実施状況	ユビキタスネットワーク技術(電子タグ、センサネット、無線LAN等)を活用した医療機関内での看護業務、医療廃棄物、可搬 式医療機器及び医薬品・医療材料の管理等を対象としたシステムの機能、運用面からの実証実験等を実施した。ま た、ユビキタスネットワーク技術の医療分野における普及促進のためのシンポジウムを開催した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	70	189	149
	執行額	—	—	53		
	執行率	—	—	76%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	53		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	事業開始時に実施計画書・業務管理スケジュールを作成した上で、随時報告を求めることにより、進捗状況を管理し、 また、実証の成果は、成果報告書により、把握、確認することとしている。				
	見直しの 余地	実証実験の仕様については、複数業者等へのヒアリングを行う。さらに、一般競争入札の公告後には、事業者等に対し て、入札スケジュール等入札情報について十分な周知を行い、より多くの入札者を募る。また、実証実験を実施する十 分な期間を確保するため、仕様書の検討等を含めた契約に関する手続きを早期に開始する。				
予算 チーム の 所 見 率	更なる見直し、改善が必要 (効率化)					
補 記						

総務省
53百万円

実証事業及び調査研究の調達・全体管理

【一般競争入札】1者応札

A. 日本電気株式会社
20百万円

ユビキタスネットワーク技術を活用した病床での看護業務(投薬等)を対象としたベッドサイドシステムの機能・運用面からの実証実験、結果分析

【一般競争入札】1者応札

B. 株式会社日立製作所
16百万円

ユビキタスネットワーク技術を活用した医療機関内における医療廃棄物、可搬式医療機器及び医薬品・医療材料の管理を対象としたトレーサビリティシス

【一般競争入札】1者応札

C. NECネットエスアイ株式会社
15百万円

ユビキタスネットワーク技術を活用した医療機関内における転倒検知システムの機能、運用面からの検討・分析

【一般競争入札】6者応札

D. 株式会社ステージ
3百万円

「ICT医療フォーラム」シンポジウム開催に関する運営事務(受付・パンフ印

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.日本電気株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員、研究補助員	12			
機器費	実証実験用機器	8			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員、研究補助員	13			
機器費	実証実験用機器	2			
印刷費	報告書等	1			
計		16	計		0
C.NECネットズエスアイ(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員、研究補助員	11			
機器費	実証実験用機器	4			
計		15	計		0
D.株式会社ステージ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	(ICT医療フォーラム(日本経済新聞社との共催)の運営業務(受付・パンフ印刷・会場設営等))	3			
計		3	計		0

ユビキタス健康医療技術推進事業の概要

ユビキタスネット技術の高度利用により、以下のような機能が発揮されるかについて技術的実証を行う。

①医療従事者の明示的な読み取り操作なく、患者・医薬品・医療機器に貼付された電子タグの情報を確実に読み取り・管理できること

②院内の患者や在宅者の状態を自動的にモニタリングしセキュアに情報管理すること

③医療従事者の行為をモニタリングし、リスクアラートを発すること

・厚生労働省と連携し、上記機能による医療の安全性向上や業務の効率化等に関する効果を検証する。

・ユビキタスネット技術の活用に関し、広く普及・啓発を図る。

実証事業のイメージ

